

診調組 慢 - 1
(別 紙 1)
1 7 . 1 1 . 2

中 医 協 診 - 1
1 7 . 7 . 1 3

これまでの検討経過について

平成17年7月13日
診療報酬調査専門組織慢性期入院医療の包括評価調査分科会
分科会長 池上 直己

1. 背景

平成15年3月に閣議決定された「医療保険制度体系及び診療報酬体系に関する基本方針について」において、慢性期入院医療については、「病態、日常生活動作能力（ADL）、看護の必要度等に応じた包括評価を進めるとともに、介護保険との役割分担の明確化を図る」とされたところ。

2. これまでの検討について

当分科会においては、中央社会保険医療協議会基本問題小委員会の付託を受け、慢性期入院医療について、患者特性や医療提供状況等に応じた慢性期入院の包括評価を行うための検討を行ってきており、平成16年11月には基本問題小委員会に中間報告を行い、「慢性期入院医療の包括評価に関する平成16年度調査」の実施について了承を得、平成17年2月～3月にかけて調査を実施した。

その後、平成17年3月31日、5月11日及び6月30日に開催された同分科会において、その調査結果（別添1参照）を報告するとともに、これまでに提案された患者分類案（日医総研による「長期療養者に対する新しい支払い方式」、健康保険組合連合会による「急性期以外の入院医療に対する新しい支払い方式」等）を参考に、医療提供実態を反映した医療区分と、ADL自立度等を反映したADL区分によるマトリックスの「患者分類試案」を作成した。（別添2参照）

また、「患者分類試案」については医療現場での妥当性を検証すること等の必要性が指摘され、平成17年度の調査として「患者分類案の妥当性に関する調査」及び「慢性期入院実態調査」を行うことが適当であると合意が得られた。(別添3参照)

なお、患者分類試案については、未だ確定案ではなく、今後、慢性期入院医療に関する専門家の意見も踏まえた上で、調査開始までに改善を行うこととされた。

【検討の日程】

平成16年12月24日

- ・平成16年度慢性期入院医療の包括評価調査について

平成17年 3月31日

- ・平成16年度調査の粗集計について
- ・今後の進め方について

平成17年 5月11日

- ・平成16年度調査結果について(1)
- ・慢性期包括評価における患者分類のたたき台
- ・平成17年度に行う調査について

平成17年 6月30日

- ・平成16年度調査結果について(2)
- ・患者分類試案
- ・平成17年度に行う調査の具体的進め方について

(別添1)

慢性期入院医療の包括評価に関する調査

結 果 概 要

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的
2. 調査対象
3. 調査票の種類と内容

II 調査結果

1. 患者特性調査
2. タイムスタディ調査
3. コスト調査

I 調査概要

1. 調査の目的

慢性期入院患者に係る患者特性及びサービス提供の実態を調査し、慢性期入院医療の患者像及び分布の把握を行い、中央社会保険医療協議会における療養病棟等における慢性期入院医療の病態、日常生活動作能力（ADL）等に応じた包括評価に関する基礎資料を提供することを目的とした。

2. 調査対象

1) 調査対象病院

慢性期入院医療の患者像等を適切に評価するために、下記の病棟を有する病院を対象として患者特性調査、タイムスタディ調査、コスト調査等を実施した。

- ◆療養病棟入院基本料を算定している病棟
- ◆療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟
- ◆特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟
- ◆一般病棟入院基本料（老人一般病棟入院基本料）Ⅱ群3を算定している病棟

一貫した調査票で患者像を把握し、医療機能の分化を適切に評価するために、上記病棟に加え、下記の病棟を有する病院において患者特性調査のみを実施した。

- ◆回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟

2) 調査対象数

病院類型（病床種類の組み合わせ）、所在地、病所規模により層化抽出した結果、89病院が調査対象となった。

図表 調査参加病院の属性

算定入院料種別による病棟区分	一般病棟との併設		許可病床規模		地域区分				計
	無し	有り	200床未満	200床以上	特別区・特 甲地	甲地	乙地	その他	
療養病棟入院基本料	19	17	26	10	2	3	6	25	36
療養型介護療養施設サービス費	10	10	12	8	4	2	1	13	20
特殊疾患療養病棟入院料（1、2）	6	7	11	2	4	0	1	8	13
一般病棟入院基本料Ⅱ群3	0	7	6	1	0	0	1	6	7
回復期リハビリテーション病棟入院料	3	10	9	4	3	0	1	9	13
全体	38	51	64	25	13	5	10	61	89

3. 調査票の種類と内容

1) 患者特性調査票

慢性期入院医療の患者像を適切に把握することを目的として、過去に実施された調査における調査項目を整理した下記の項目を調査項目とした。

<主な調査項目>

(患者特性に関する項目)

年齢、入院期間、要介護認定取得の有無、問題行動、ADL、認知症、疾患、病状や栄養状態の程度 等

(医療提供に関する項目)

治療、処置、リハビリテーション実施の状況、薬剤使用の状況 等

患者特性調査は、タイムスタディ調査基準日に入院している全ての患者を対象として行った。患者特性調査は、タイムスタディ調査基準日の前後1日間の状態を評価して調査票に記入した(タイムスタディ調査を実施しない回復期リハビリテーション病棟は、設定された調査基準日に入院している全ての患者を調査対象として患者特性調査を調査基準日の前後1日間の状態を評価して記入した)。

新規入院患者(患者特性調査の調査日に入院していた患者のうち調査日からさかのぼって2週間以内に入院した患者)については、上記の調査基準日から2週間後に患者特性調査を再度実施した。

2) タイムスタディ調査票

タイムスタディ調査は、調査基準日に該当病棟に入院している全ての患者の療養に係る職員を対象とし、記入は自記式とした。調査は、調査基準日に実施した。

なお、対象職員の選定、該当病棟内で勤務する看護職、介護職への調査票の配付・回収に関する責任者は調査対象病棟の看護師長とした。部門兼任職員(該当病棟以外の患者にも関わる職員)については、事務部長の責任のもと、前述の看護師長が選定した対象職員リストをもとに、連絡・調整、調査票の配付・回収を実施した。

3) コスト調査票

調査対象病院全体のコストから、該当病棟、入院患者一人当たりの費用推計を行うための基礎数値を収集した。

コスト調査は、調査対象病院の事務部門が調査票に記載した。対象期間は、平成15年度分とした。

Ⅱ 調査結果

1. 患者特性調査

1) 回収数

有効回収数は以下の通りであった。

図表 有効回収数

病棟種別 (算定入院料種別)	有効回収数	構成比
療養病棟入院基本料を算定している病棟 (以下、医療療養)	2,819人	41.3%
療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟 (以下、介護療養)	1,889人	27.7%
特殊疾患療養病棟入院基本料(1,2)を算定している病棟 (以下、特殊疾患療養)	1,105人	16.2%
一般病棟入院基本料Ⅱ群3を算定している病棟 (以下、一般病棟Ⅱ群3)	275人	4.0%
回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟 (以下、回復期リハビリ)	736人	10.8%
合計	6,824人	100.0%

2) 結果概要

●疾患名：複数回答

	医療療養	介護療養	特殊疾患療養	一般病棟 Ⅱ群3	回復期 リハビリ
	n=2,819	n=1,889	n=1,105	n=275	n=736
a.糖尿病	15.0%	13.0%	14.6%	16.4%	16.6%
b.不整脈	5.2%	5.8%	4.9%	5.5%	5.2%
c.うっ血性心不全	9.0%	9.8%	11.6%	10.9%	4.5%
d.高血圧症	19.1%	20.4%	19.4%	16.4%	43.2%
e.虚血性心疾患	6.8%	7.1%	5.4%	8.0%	3.4%
f.大腿骨頸部骨折	7.3%	10.2%	4.5%	5.1%	18.2%
g.脊椎圧迫骨折	3.2%	5.2%	1.6%	3.3%	1.5%
h.その他の骨折	3.7%	2.8%	2.1%	6.9%	9.1%
i.アルツハイマー病	6.3%	10.2%	7.1%	4.4%	2.7%
j.失語症	3.4%	6.4%	9.3%	2.5%	9.5%
k.脳性麻痺	0.5%	0.4%	0.5%	0.7%	0.1%
l.脳梗塞	36.1%	49.8%	40.4%	29.1%	42.0%
m.脳出血	13.2%	14.8%	20.8%	5.8%	24.2%
n.アルツハイマー病以外の認知症	17.4%	26.4%	14.2%	10.2%	8.4%
o.片側不全麻痺	12.8%	18.4%	14.5%	9.8%	28.0%
p.多発性硬化症	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%	0.0%
q.パーキンソン病関連疾患	5.0%	5.8%	10.3%	3.6%	2.2%
r.四肢麻痺	3.3%	3.6%	14.4%	4.4%	2.4%
s.その他の神経難病	1.4%	1.0%	6.6%	0.7%	0.5%
t.神経難病以外の難病	0.4%	0.1%	0.8%	0.7%	0.0%
u.脊髄損傷	1.3%	1.0%	3.9%	0.7%	1.5%
v.喘息	2.7%	2.7%	2.0%	6.5%	2.3%
w.肺気腫	2.7%	3.2%	3.6%	8.0%	2.2%
x.がん	5.9%	5.5%	4.3%	9.5%	3.0%

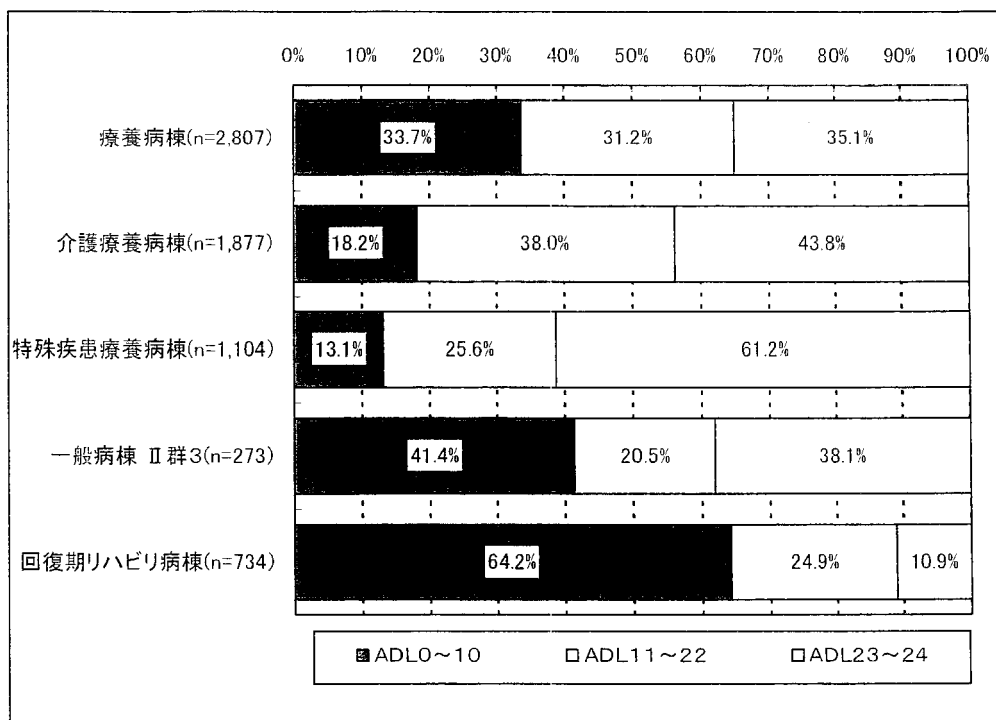
●処置・治療の内容：複数回答

	医療療養	介護療養	特殊疾患療養	一般病棟Ⅱ群3	回復期リハビリ
	n=2,819	n=1,889	n=1,105	n=275	n=736
a.抗がん剤療法	0.2%	0.3%	0.1%	1.1%	0.1%
b.透析	3.2%	0.2%	0.0%	1.8%	0.0%
c.胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	12.3%	16.8%	26.0%	7.3%	2.9%
d.ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.1%	0.1%	0.3%	1.8%	0.0%
e.酸素療法	6.3%	3.5%	11.1%	21.1%	1.9%
f.放射線治療	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%
g.吸引(1日8回以上)	9.5%	9.4%	21.4%	11.6%	2.2%
h.吸引(1日1~7回)	11.1%	11.8%	22.4%	15.3%	3.8%
i.気管切開口・気管内挿管のケア	4.4%	3.1%	15.1%	8.0%	0.5%
j.輸血	0.3%	0.2%	0.5%	2.5%	0.0%
k.レスピレーター	0.4%	0.2%	4.6%	4.4%	0.1%
l.緩和ケア	1.6%	0.9%	1.1%	2.9%	0.7%
m.疼痛コントロール	4.2%	1.5%	2.7%	7.3%	4.9%
n.膀胱留置カテーテル	9.2%	6.7%	13.8%	21.8%	4.2%
o.感染隔離病室におけるケア	0.6%	0.4%	0.9%	4.0%	0.1%
p.血糖チェック(1日3回以上)	1.3%	0.6%	1.7%	4.0%	3.7%
q.血糖チェック(週1回~1日2回)	6.5%	5.8%	6.6%	8.7%	3.5%
r.インシュリン皮下注射	4.8%	3.1%	4.3%	4.7%	2.4%

●在院日数の分布

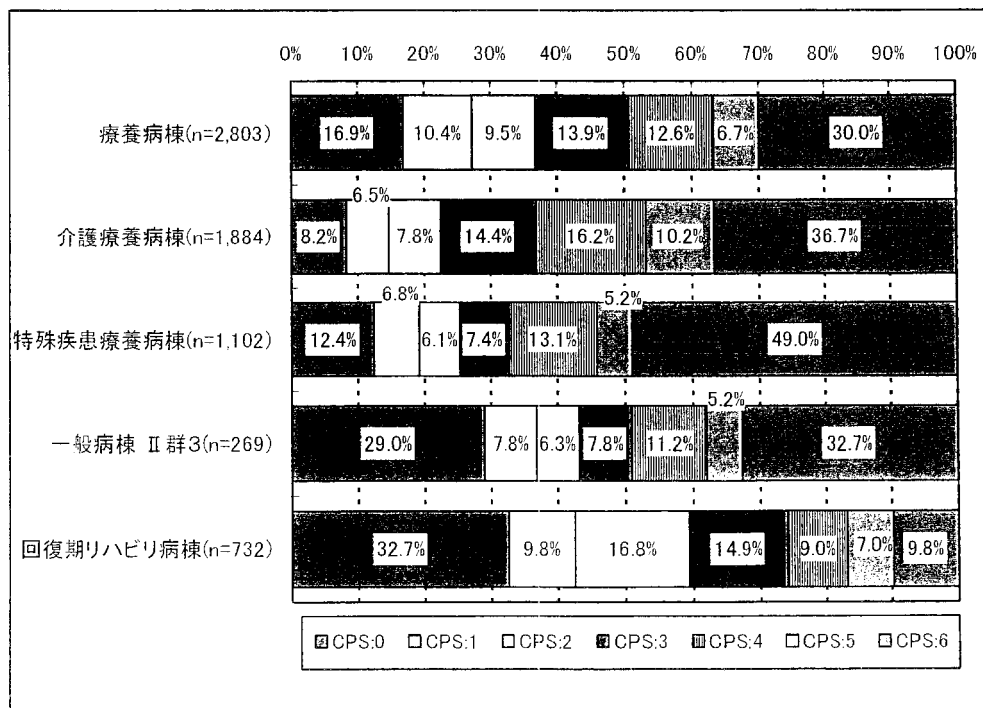
病棟		医療療養	介護療養	特殊疾患療養	一般病棟Ⅱ群3	回復期リハビリ
在院日数	30日以下	458 16.4%	151 8.0%	92 8.3%	125 46.1%	284 38.8%
	30日超-60日以下	266 9.5%	109 5.8%	75 6.8%	40 14.8%	169 23.1%
	60日超-90日以下	242 8.6%	118 6.3%	62 5.6%	23 8.5%	137 18.7%
	90日超-120日以下	173 6.2%	106 5.6%	70 6.3%	17 6.3%	77 10.5%
	120日超-150日以下	141 5.0%	71 3.8%	32 2.9%	11 4.1%	33 4.5%
	150日超-180日以下	125 4.5%	63 3.3%	45 4.1%	8 3.0%	22 3.0%
	180日超	1,395 49.8%	1,265 67.2%	727 65.9%	47 17.3%	10 1.4%

●ADL 得点（日医版4項目）



注：ベッド上の可動性、移乗、食事、トイレの使用の4項目を対象に、各評価点を合計した（自立0点、準備のみ1点、観察2点、部分的な援助3点、広範な援助4点、最大の援助5点、全面依存、本動作は1回もなかったは6点で換算）

●CPS（Cognitive Performance Scale：認知機能尺度）（健保連版）



注：CPS の判定方法は最終ページの参考資料に掲載している。

2. タイムスタディ調査

1) 回収数

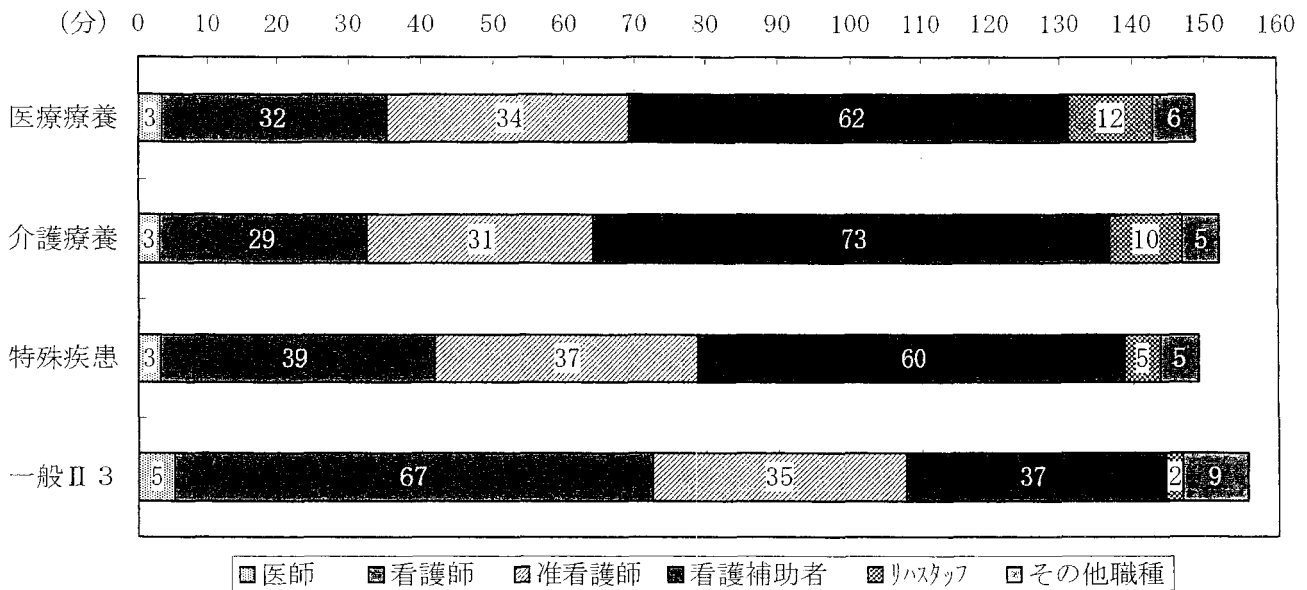
有効回収数（回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟は除く）、以下の通りであった。

図表 有効回収数

病棟種別 (算定入院料種別)	有効回収数	構成比
療養病棟入院基本料を算定している病棟 (以下、医療療養)	2,555 人	45.9%
療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟 (以下、介護療養)	1,770 人	31.8%
特殊疾患療養病棟入院基本料(1,2)を算定している病棟 (以下、特殊疾患療養)	994 人	17.8%
一般病棟入院基本料Ⅱ群3を算定している病棟 (以下、一般病棟Ⅱ群3)	253 人	4.5%
合計	5,572 人	100.0%

2) 結果概要

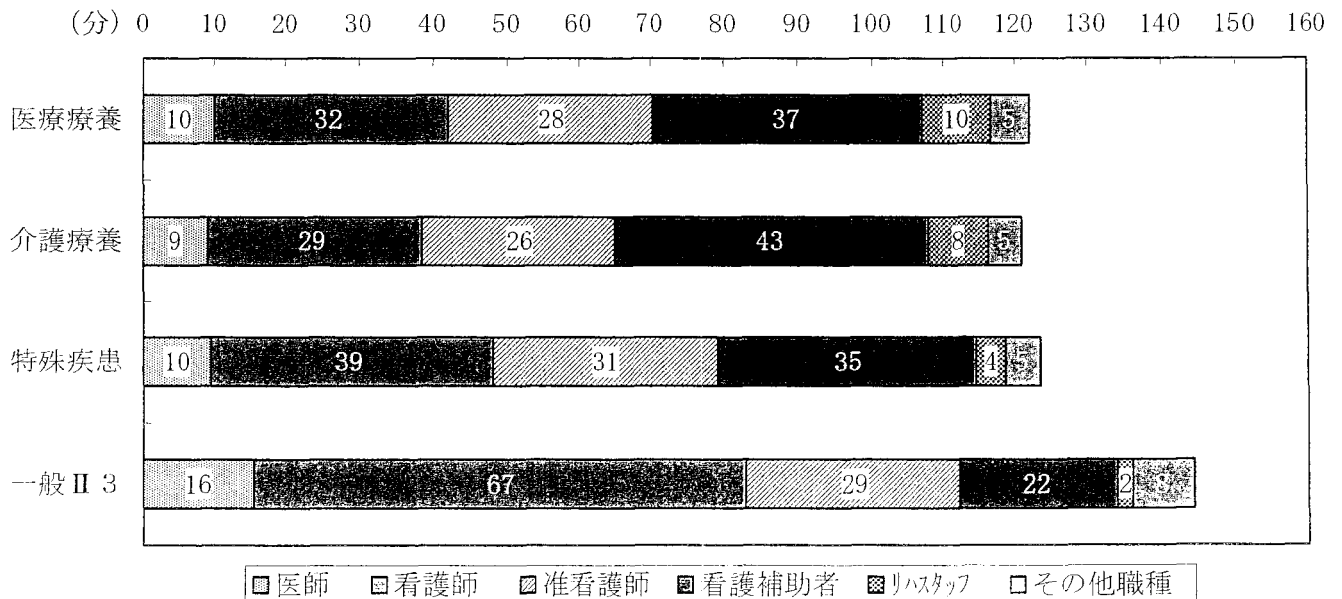
●患者1人1日当たり個別ケア時間（実時間）



注：個別ケア時間の算出方法

- ・看護師、准看護師、看護補助者（介護職）の個別ケア時間
 =24 時間タイムスタディ調査票の患者別個別ケア時間を患者毎に再集計して算出。
- ・医師(非常勤医師含む)、リハスタッフ(PT、OT、ST)、その他職種(薬剤師、栄養士、MSW 等)
 =7 日間タイムスタディ調査票の患者別個別ケア時間を患者毎に再集計し、1 日換算
 するために7で除して算出。

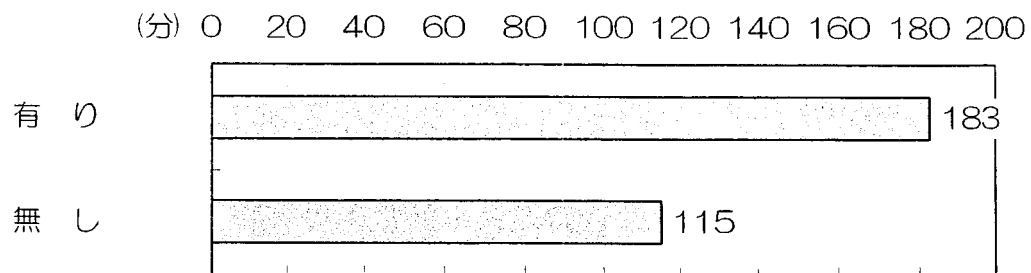
●患者1人1日当たり職種別人件費重み付け個別ケア時間



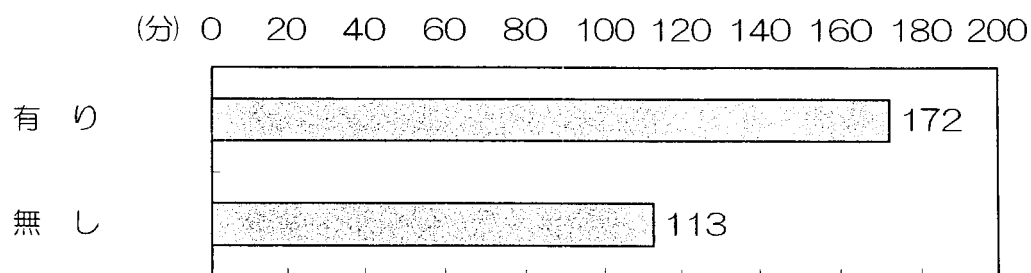
注：病院の職種別の人件費から、看護師の平均給与を 1.0 とした給与指数を計算し(医師 2.94 / 看護師 1.00 / 准看護師 0.84 / 看護補助者 0.59 / リハスタッフ 0.84 / その他職種 0.93)、個別ケア時間に相対的な給与指数を乗じた重み付け平均ケア時間を算出した。

●主要項目における個別ケア時間（患者1人1日当たり職種別人件費重み付け／リハスタッフ除く）比較

■レスピレーター装着有無別

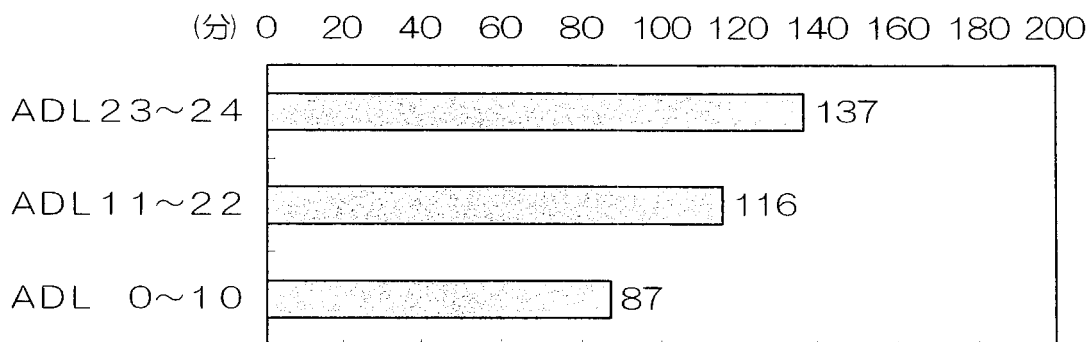


■経静脈栄養※有無別

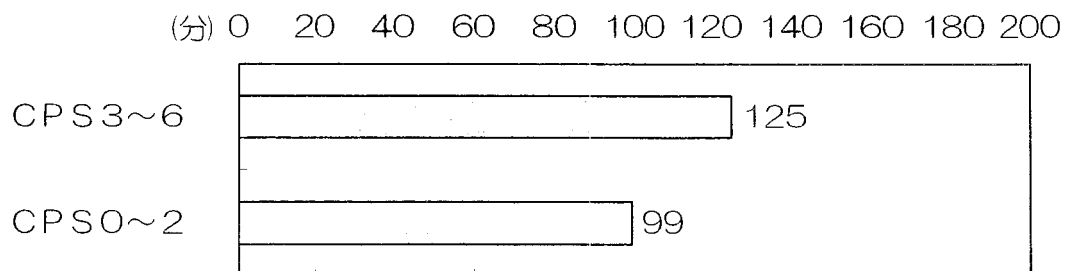


※経静脈栄養：当該療法によりカロリー摂取が50%以上であるか、25%～50%でも平均500cc/日以上水分が経静脈によって補給されている場合にのみ該当。

■ADL区分別



■CPS区分別



3. コスト調査

1) 回収数

有効回収数は、回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟のみを調査した病院等を除く80病院であった。

2) 結果概要

●病棟種別別患者1人1日当たり費用（表）

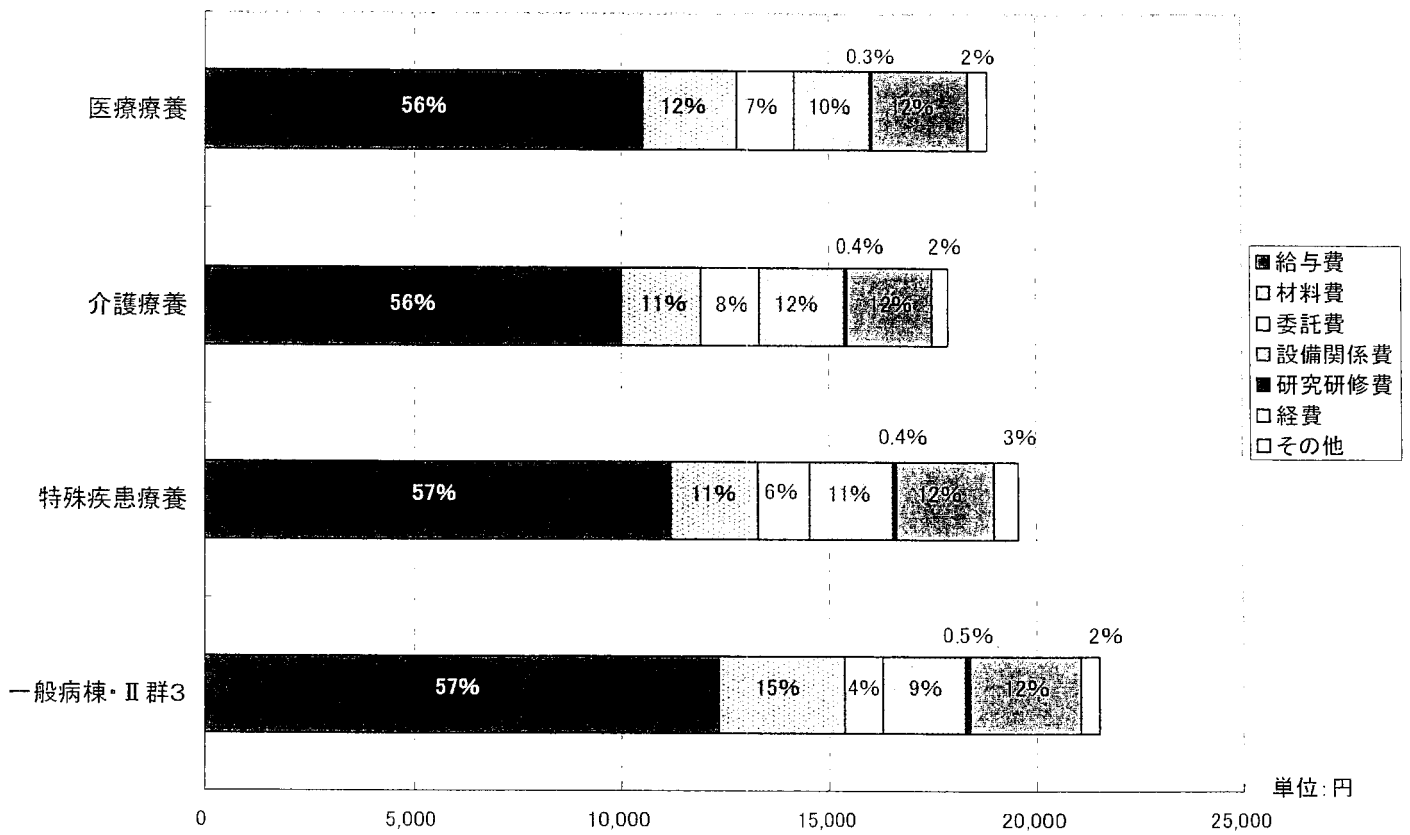
単位：円

病棟別・費目別	給与費	材料費	委託費	設備関係費	研究研修費	経費	その他	合計費用
医療療養 (n=54)	10,504 55.7%	2,232 11.8%	1,390 7.4%	1,911 10.1%	59 0.3%	2,328 12.3%	435 2.3%	18,858 100.0%
介護療養 (n=36)	9,991 55.7%	1,879 10.5%	1,408 7.9%	2,124 11.8%	70 0.4%	2,072 11.5%	393 2.2%	17,937 100.0%
特殊疾患療養 (n=26)	11,160 57.0%	2,091 10.7%	1,256 6.4%	2,079 10.6%	85 0.4%	2,332 11.9%	578 3.0%	19,582 100.0%
一般病棟・Ⅱ群3 (n=7)	12,296 57.2%	3,105 14.5%	921 4.3%	2,018 9.4%	101 0.5%	2,594 12.1%	448 2.1%	21,483 100.0%

<費用項目の定義>

- ・給与費：給料、賞与、賞与引当金繰入額、退職給与費用など（病院長、役員を含む）
- ・材料費：医薬品費、診療材料費、医療消耗器具備品費、給食用材料費
- ・委託費：検査委託費、給食委託費、寝具委託費など
- ・設備関係費：減価償却費、地代家賃、修繕費など
- ・研究研修費：研究費、研修費
- ・経費：福利厚生費、旅費交通費、職員被服費、通信費など
- ・その他：控除対象外消費税等負担額、本部費配賦額

●病棟種別別患者1人1日当たり費用（グラフ）



参考：CPS（Cognitive Performance Scale：認知機能尺度）について

